

第 29 号 商標の基本問題について

—商標の識別性と商標の機能を中心として—

[別冊パテント第 5 号 発行日：平成 23 年 3 月 30 日]

目 次

・ 並行輸入と商標機能論—パーカー事件を切り口として—	峯 唯夫	1
・ フレッドペリー最高裁判決における商標機能論の検討	蘆立 順美	11
・ マグアンプ事件における機能論再論	大島 厚	24
・ 新しいタイプの商標と識別性—見える商標での識別性—	中村 仁	38
・ 音の商標を商標法で保護する必要があるのか	峯 唯夫	48
・ 商品・包装の形状に係る立体商標	川瀬 幹夫	59
・ 立体商標について—ヨーロッパの動向を素材に—	小島 立	78
・ 地域団体商標制度と商標の機能	蘆立 順美	93
・ 商標の普通名称化・慣用商標化とその回復—識別力と独占適応性の観点から—	外川 英明	102
・ 識別力の毀損—希釈化からの保護を中心に—	名越 秀夫	119
・ 商標権の効力とその制限—商標法 25 条・26 条再考—	林 いづみ	128
・ 商標の識別力の利用と比較広告—2 つの事例から—	古城 春実	145
・ 商標の譲渡と使用許諾—商標の機能からの一考察—	大西 育子	160

・商標権の共有者による使用 金子 敏哉 171

・標章を商標たらしめるものはなにか 土肥 一史 190

研究員（敬称略、役職は報告書作成当時）

会員外研究員

（主任） 土 肥 一 史（日本大学大学院知的財産研究科 教授）

上 野 達 弘（立教大学法学部国際ビジネス法学科
准教授）

小 島 立（九州大学大学院法学研究院 准教授）

蘆 立 順 美（東北大学大学院法学研究科 准教授）

金 子 敏 哉（明治大学法学部 専任講師）

宮 脇 正 晴（立命館大学法学部 准教授）

古 城 春 実（弁護士）

林 いづみ（弁護士）

会員内研究員 川 瀬 幹 夫（弁理士）

外 川 英 明（中央大学法学部特任教授・弁理士）

峯 唯 夫（弁理士）

大 島 厚（弁理士）

名 越 秀 夫（弁護士・弁理士）

大 西 育 子（弁理士）